

外来診療予定表(2月)

★: 女性の医師 赤字:変更となった診療

診療科		月	火	水	木	金	土
総合診療部 (外科・内科)	午前	★塩田美桜(外科) 第1,2 塩田総院長(外科) 第2	大野	大野	鈴木副院長(外科)	鈴木副院長 (炎症性腸疾患専門外来)	—
	午後	小坂(下肢静脈瘤専門外来) 第2	—	—	—	—	—
	午前	武田(内科)	—	★渡部(内科) 受付15:30まで	鶴岡(内科)	★大友(内科)	木下(内科) 第1 金谷(内科) 第3
	午後		★渡部(内科) 受付15:00まで		—	—	—
	午前	大木(内科) 第1,3	—	—	岸本(糖尿病外来)	—	大木(内科) 第2,4
	午後		千葉大(内科)	—		大木(内科) 第2,3,4	—
内視鏡 (胃・大腸)	午前	★塩田美桜(胃) 第1 塩田総院長(胃) 第2	—	鈴木副院長(胃)	大野(胃)	大木(胃) 第2,3,4	—
	午後	★塩田美桜(大腸) 第1 塩田総院長(大腸) 第2	千葉大(大腸)	鈴木副院長(大腸)	大野(大腸)	—	
	◎内視鏡検査は事前に診察が必要となります。検査の予約のみをお取りすることはできませんので、予めご了承ください。						
脳神経外科	午前	西澤	—	山岡	山岡 第1,3 青柳 第2,4	青柳	團
整形外科	午前	塩田院長	八木(脊椎・脊髄専門外来)	塩田院長	塩田院長	—	塩田院長 第1,2
	午後		八木(脊椎・脊髄専門外来) 第3	—			—
	午前	—	石井(予約制)	—	—	伊藤	石井(予約制) 第3,4
	午後			石井(予約制)	石井(予約制)		—
	午前	—	★増渕	—	—	金城 第1,2,3	金子 第2 山田 第3
	午後					金城 第1	★和才(肩外来) 第4 ※午後休診※
肝臓内科	午前	大木 第1,3	—	椎名(予約制) 第3,4	—	—	大木 第2,4
	午後			—		大木 第2,3,4	—
循環器内科	午前	亀田総合病院 (交代制)	—	中津	亀田総合病院 (交代制)	大橋	—
	午後					大橋 第1,3,4	
婦人科	午前	—	遠藤	—	—	★山中	遠藤
	午後					—	—
リハビリ 外来	午前	大木 第1,3	—	—	宇野 第1,3	—	大木 第2,4
	午後				—	大木 第2,3,4	—
脳神経内科	午前	—	片多(予約制)	平田	—	—	—
耳鼻咽喉科	午前	小谷 初診受付16:00まで	—	—	★スミス 第1,3	河合 初診受付11:00まで	—
	午後		鈴木			—	
泌尿器科	午前	—	—	—	★谷内	—	金子 第2 勝 第3
	午後						—

◎診療予定は変更となる場合があります。院内『お知らせコーナー』や『ホームページ』または、電話にてご確認ください。

◎当日のご予約はお取りすることができません。必ず前日までにお取りください。 ◎当日、急遽休診になる場合がありますので、ご了承ください。

◎保険証は毎月確認させていただきますのでお持ちください。また、お薬手帳もございましたら必ずお持ちください。

◎外来受診に関する詳しい案内は『ホームページ』よりご確認ください。

受付時間:(月～金)8:30～11:30/13:30～16:30 (土)8:30～11:30

予約専用ダイヤル:0475-35-0002 (月～金)8:30～17:00

※お電話をおかけの際、診察券をお持ちの方はお手元にご用意ください。 ※当日予約なしで受診希望の際はお電話にてご確認ください。

医療法人SHIODA塩田記念病院広報誌

塩田記念病院だより

Vol.151 2026年2月号

病気の豆知識 ～手術室という地域の財産～

「どうする？自治体病院の9割、一般病院の6割が赤字」「東千葉メディカル、累積赤字29億円」。近頃、このような記事が目につくようになった。これまで医療を巡る報道といえば、「医療ミス」「たらい回し」「虐待」など、現場の負の側面を切り取るものが多かった印象がある。では、この変化はいったい何を意味しているのだろうか。

多くの人は実感していないかもしれないが、日本の医療は他の先進国と比べても、平等で、安価で、かつ高度である。多くの場合、当日に受診でき、検査費用は定額。外科医の熟練した技術でさえ、診療報酬という一律で、決して高いとは言えない価格で提供されている。入院食は一食510円である。

一方で、医療機器や機材の購入費、人件費、光熱費など、病院を維持するための経費は年々増え続けている。収益が据え置かれたまま高度医療を提供し続ければ、利益が出ないのは当然である。最先端のロボット手術は、実施すればするほど赤字が膨らむため、導入や実施を制限している大学病院もあると耳にする。塩田記念病院も状況は決して例外ではない。そのような中で、麻酔器(1台800万円)を新調していただいたことは、非常にありがたいことである。しかし、手術室を新設するとなれば、億単位の費用が必要となり、その維持にも莫大なコストがかかる。さらに、医師や看護師だけでなく、臨床工学技士、放射線技師、検査技師、洗浄・滅菌担当など、多くの専門職の連携が不可欠であり、一朝一夕に成り立つものではない。そういう意味で、手術室は極めて貴重な存在であり、地域にとっての大切な財産である。

長柄町で唯一の手術室を、いかに有益に活用し、次の世代へと引き継いでいくのか。今、私たちはその問いに真正面から向き合う時期に来ているのではないだろうか。



麻酔科 部長
中村 京一

■オンライン肝がん相談外来設置

塩田記念病院では、遠方からの移動時間を気にすることなく相談を受けていただくことができる「オンライン診療相談」を設置しました。事前に検査データなどを頂いたうえで、オンライン診療システムを利用して実施します。予約方法などは、右のQRコードよりご確認ください。



■当院からのお電話について

外来が急遽休診になってしまったときや入院・お会計のことなどで患者さんへご連絡させていただくことがあります。その際に患者さんよりお伺いしている携帯番号・自宅番号へご連絡いたしますので、番号に変更がありましたら窓口にお越しの際やお電話した際に必ずお申し出ください。同様に住所が変わった際もご協力をお願いいたします。

広報企画室発行 Tel:0475-35-0099 Fax:0475-35-0098

〒297-0203 千葉県長生郡長柄町国府里550-1 塩田記念病院ホームページQRコード



TOPIC ～千葉県長生郡の地域医療連携について～

千葉県長生郡では、住民の暮らしを支えるための地域医療連携が、近年大きく進展しています。その背景には、高齢化の進行や医師不足、慢性疾患の増加など、地域医療が抱えるさまざまな課題があります。こうした状況に対応するため、病院や診療所にとどまらず、介護サービス、行政、薬局など多様な医療・福祉機関が、それぞれの役割を活かしながら連携する体制が整えられつつあります。

具体的には、千葉県が山武・長生・夷隅地域を一つの医療圏として設置している「地域保健医療連携・地域医療構想調整会議」を中心に、今後の医療提供体制についての議論と調整が進められています。この会議には、自治体や医師会、病院、保健所などが参加し、急性期医療や回復期医療、在宅医療のバランス、病床機能の役割分担、外来医療の確保など、多角的な視点から検討が行われています。

また、茂原市長生郡医師会をはじめとする地域の医療機関では、訪問看護や地域包括ケアの推進、救急医療の補完などに取り組み、病院から在宅へと切れ目なく医療と介護がつながる仕組みの強化が図られています。さらに、長生郡市広域市町村圏組合では、休日や夜間の急病診療体制の整備にも力を入れており、住民が安心して暮らせる地域づくりに寄与しています。

地域医療は、単に治療を行うだけのものではありません。患者さん一人ひとりの生活を支え、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目的とした、多職種連携による取り組みです。長生郡におけるこれらの努力は、これからの地域医療の在り方を象徴するものと言えるでしょう。

地域医療連携室



INFORMATION

お知らせ

当院では千葉県警察と連携をとり、定期的に移動交番を開設しています。周辺の警戒、巡回パトロールなどを行い、地域の実情に沿った情報発信や犯罪抑止活動を展開しています。また、お困りごとの相談などを行っていますので、見かけた際には是非ご相談してみてください。また右側QRコードより千葉県警の移動交番の開設場所一覧を確認できます。



千葉県警HP



栄養士の独り言 「病院の行事食」

暦の上では春を迎えますが、寒さ厳しい日々ですが、梅の花のかわいらしい姿をみるとほんのり温かい気持ちになります。皆様いかがお過ごしでしょうか。今月の独り言は年末年始の当院のお食事をご紹介します。

12月は冬至からクリスマス、大みそか、お正月三が日、七草、鏡開きと行事食が続きます。ご入院中の患者さんに少しでも年末年始の気分を味わっていただきたい思いで栄養士をはじめ栄養科スタッフは通常どおりの勤務でご提供させていただきました。

写真を添えてご紹介いたします。



「おせち料理付きご飯」



「七草粥付きご飯」

～入院患者さんの声～

「毎日ご苦労様です。入院生活中ですがおせち料理を豪華にだしていただき、ありがとうございます。」

「とてもおいしかったです。七草粥は初めて食べました。これからも続けてください。今日で退院します。毎日美味しいご飯ありがとう。」

「あけましておめでとうございます。お料理はとても柔らかく仕上がっていました。これだけの薄味にする自身がありませんがとてもおいしかったです。ごちそうさまでした。」

「七草の日に七草粥とよく耳にしますが、自分では作りません。食べられてよかったです。お正月が終わるのを感じます。毎日ご苦労様です。」

いかがでしたでしょうか。今後もご入院中でも季節感を味わえる様な、入院生活に彩りを添えられるようなお食事を提供できるように計画して参ります。寒さも厳しい頃、皆様お元気にお過ごしくださいませ。

次回もお楽しみに。

栄養科 管理栄養士 戸矢静華

